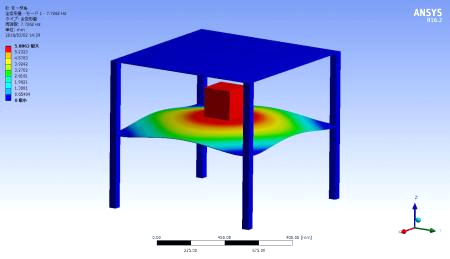
**経営者・技術者 必見！**

**デジタル技術活用人材育成研修**



**「デジタル技術活用」を担う人材育成** に困っていませんか？

製造部門において、IoT導入による生産性向上の取組が図られつつありますが、

製品の品質・コストを決定づける、**設計・解析・測定を一連とした**

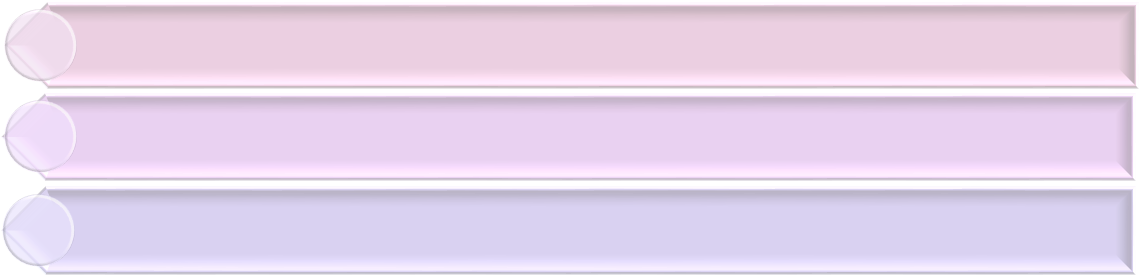
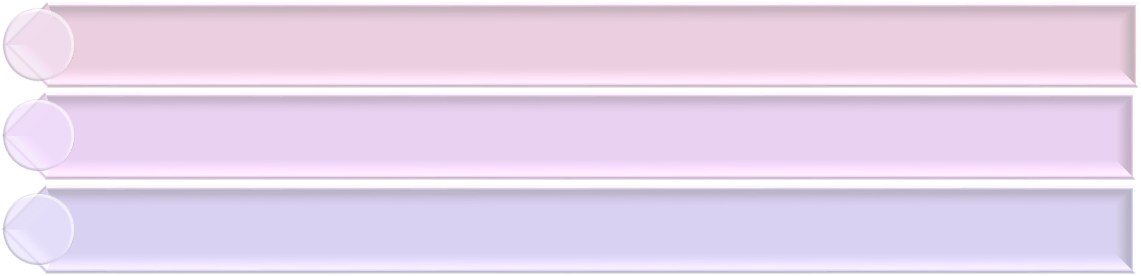
**デジタル技術の活用・後工程での問題発覚や手戻りが少なくなる**

**フロントローディング** はまだまだ進んでいません。

そこで今回、人材育成を目的として **CAD、CAM、CAE等** の研修を

全6回に分けて行います。**全6回の連続受講により、デジタルものづくりの一連の概要を習得できる**

**カリキュラムとなっています**。第1回、第6回については、特に **経営層の方々にご聴講いただきたい内容** となっています。奮ってご参加ください。



**設計の迅速化と設計の高度化について** サイバネットシステム株式会社　栗崎 彰　氏

**ホンダロックにおけるデジタル技術を活用した製品開発** 株式会社ホンダロック　多田 真和　氏

**手戻りを撲滅する設計プロセスと3D CAD活用講座**

**原理から理解するCAM入門講座** 金沢大学 設計製造技術研究所　浅川 直紀　氏

**～CAEの特徴と基本操作を実践で学ぶ～**

**DX時代のデジタル・エンジニアリング** サイバネットシステム株式会社　栗崎 彰　氏

**① 設計概論編** 龍菜　西川 誠一　氏

**② 3D CAD実習編** 龍菜　西川 誠一　氏

**一から学ぶCAE基礎講座** サイバネットシステム株式会社　松原 勇武　氏

**経営層**

**おすすめ**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ① | 10月29日（金） | 13：30～16：15 | 定員60名 | Zoomでも開催予定 |
| ② | 11月15日（月） | 10：00～17：00 | 定員20名 |  |
| ③ | 11月16日（火） | 10：00～17：00 | 定員20名 |  |
| ④ | 11月29日（月） | 9：15～16：15 | 定員20名 |  |
| ⑤ | 12月 9日（木） | 10：00～17：00 | 定員20名 | 一般社団法人日本機械学会  公認CAE技能講習会認定証　対応 |
| ⑥ | 12月10日（金） | 13：30～15：00 | 定員60名 | Zoomでも開催予定 |

※ 会場は、すべて、**大分県産業科学技術センター**（大分市高江西1-4361-10）です。

※ 新型コロナウイルスの影響によっては、オンライン研修となる場合もあります。

**経営層**

**おすすめ**

|  |  |
| --- | --- |
| **①** | **設計の迅速化と設計の高度化について**  **ホンダロックにおけるデジタル技術を活用した製品開発** |
| ・製造業におけるデジタル技術活用の意義、特に、設計製造のプロセス改良の技法として提唱されているフロントローディング設計の重要性とその中で果たすCAEの役割、またDX時代を見据えた製造業三原則について講演します。  ・ホンダロックでは安心と安全に関わる4輪、2輪部品の開発・製造をしており、開発段階でデジタル技術を活用することで開発品質の改善、向上に日々努めています。開発品質のみならず、開発コストへの効果性及び、デジタル技術を現場に根付かせる取り組みについて、デジタル技術の活用事例を踏まえながら紹介します。 | |
| **②** | **手戻りを撲滅する設計プロセスと3D CAD活用講座　① 設計概論編** |
| 設計とは何らかの目的を実現するために、具体的な手段や方法を考えながら全体を統合していく作業です。機械・製品の目的やコンセプトを明確にすることから始めて、それらを達成するために必要な設計の目標値（仕様）を設定し、仕様を満たす具体的な構造や機構を考える、という「手戻りのない設計プロセス」について習得します。 | |
| **③** | **手戻りを撲滅する設計プロセスと3D CAD活用講座　② 3D CAD実習編** |
| 設計検証では「少ない手数で、手戻りの原因となる問題点を早く見つける」ことが重要となります。本講座では簡単な事例を例題に、3D CADを使用しながら「モデリング3ヶ条」に従って、設計で重要な部分からモデリングすることにより、早い段階で重要な機能の検証が可能となることを習得します。 | |
| **④** | **原理から理解するCAM入門講座** |
| CADデータ活用の一つとしてCAMツールがありますが、本講座ではCAMの概略から始まり、工作機械にどのようなデータを与えればよいか、またCADからどのようにGcodeを作成するかといったCAM活用に必要な基礎的知識のほか、演習を交えた実装例もご紹介します。 | |
| **⑤** | **～CAEの特徴と基本操作を実践で学ぶ～　一から学ぶCAE基礎講座** |
| 講習会では、CAEに必要な基本的用語を理解いただくと共に、簡単な演習を通して、CAEの一連の流れを習得します。また、本講座は一般社団法人日本機械学会　公認CAE技能講習会（固体力学分野）に認定されており受講修了後には、受講証明書の発行も可能です。 | |
| **⑥** | **DX時代のデジタル・エンジニアリング** |
| 昨今話題になっているDXについて、そもそもDXとは何か？　製造業におけるDXの最新動向とその効用についてもご紹介します。 | |

※ 第5回については、一般社団法人日本機械学会公認CAE技能講習会（固体力学分野）に

　　認定されているため、**修了者は申請することにより計算力学技術者（初級）の認定を受けることができます**。

※ さらに、計算力学技術者資格試験において、**2級受験必須要件である「ソフトウェア使用経験」が認められます**。

―――**参加申込書**（ E-mailでお申込みください。　**締切：10月15日（金）** ）―――

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業名・  団体名 |  | | 住所 |  | |
| TEL |  | | FAX |  | |
| 所属・役職 | | 氏名  （メールアドレス） | | | ○をつけてください。  （全6回受講希望以外は、該当箇所に○） |
|  | | （　　　＠　　　　　　　　　　　） | | | 全6回受講  （ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ）  （ 1 Zoom ・ 6 Zoom） |
|  | | （　　　＠　　　　　　　　　　　） | | | 全6回受講  （ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ）  （ 1 Zoom ・ 6 Zoom） |
|  | | （　　　＠　　　　　　　　　　　） | | | 全6回受講  （ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ）  （ 1 Zoom ・ 6 Zoom） |

**◆お問合せ・お申込み先：**

**大分県産業科学技術センター　企画連携担当　清水　　　TEL：097-596-7101　　E-mail：info@oita-ri.jp**